

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力を育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点 ・未来社会を創造する資質・能力を身に付ける子の育成 ・プレゼン教育・一歩踏み出し乗る・越え挑戦し続けるICT教育	⑤安全・安心で快適な学習環境の整備 ④DXを取り入れた教育の推進 ③地域の関係団体等との協働による郷土教育の推進 ②学校の自己実現を支える教育の推進 ①豊かな心、健全な身体、確かな学力を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進	豊かな人間性 たくましい実践力 ◇きびしく ◇あたたかく ◇ねばり強く	主体的に「考え・伝え・行動する」	二生懸命がかっこいい」を実現する学校	① 育てたい資質・能力「主体的に考え、伝え行動する」の育成	・対話が議論へと転換するような授業づくり、楽しい授業を目指す。 ・生徒主体の授業を、生徒と共に考え実践する。	A	・年間2回の授業研究会を通して、議論へと転換するような授業づくりについて、教職員の意識が高まった。特に、日々の授業でねらいや課題を大切にした授業づくりに心がけられた。
					① ② ④ DXを取り入れた教育の推進	・三者懇談等で、自分の目標やあゆみをタブレットにまとめ、他者に伝える機会をもつ。 ・心の健康観察の活用方法を工夫する。	B	・三者懇談の時に、自分の学校生活や家庭の様子についてタブレットにまとめ保護者に伝えることができた。心の健康観察については活用したものの、全員が必ず取り組む方法や、回答に対してどのように手立てを打つか吟味することがあまりできなかった。
					② 「自立」と「自律」を生み出す	・生徒会活動や取り組み等を通して、自分たちの生活を自分たちで見直し、創り出す。	A	・生徒が主体となって学校生活の見直しや行事への参加を行えた。特に、体育祭「東魂祭」や合唱祭「東萌祭」の企画・内容を自分たちで考え、進められた。また、授業参観についても、見どころを明確にし、生徒が保護者を招待することができた。
					② 生徒の困り感に寄り添い、具体的な支援を生み出す	・教育相談委員会を毎週実施し、支援体制や居場所づくりを行う。 ・臨床心理士を招き、マインドフルネスの活動を推進する。	A	・毎週、教育相談委員会を実施し、支援体制や居場所づくりについて協議することができた。また、協議を通して、組織で対応する手立てを明確にし対応した。
				誰ひとりとして寂しい思いをしない学校	② 自己肯定感と達成感を生み出す	・行事や生徒会活動を通して、生徒が主体的で創造的な活動を行う。 ・なりたい自分のPDCAを仲間同士で行う。	B	・一人ひとりがなりたい自分をえがいて学校生活を送ることはできたが、節目で振り返り次の手立てを考えることができなかったことがあった。
				地域と共にある学校	① ③ 「持続可能社会」に向けた学び	・「郷土の未来を語る会」を実施し、郷土教育を推進する。 ・「ほだか活動」を実施し、保護者や地域の大人と協働する(地域の大人から学ぶ)。	A	・まちづくり協議会や町内会の協力のもと、地域の行事に参加することで地域のために行動することができた。その上で「郷土の未来を語る会」を実施し、地域の方々と今後も協働できる活動について話し合うことができた。
					③ まちづくり協議会等との連携	・地域の未来を担う一人として、良さや課題を見つけ出し、まちづくり協議会や町内会の大人と相談し、地域に貢献するために行動する。	A	・時間外勤務が45時間以内の職員が6割を超えた。また、勤務時間内に会議を行い、時間外に持ち越すことはなかった。増水のため、保護者引き渡しを行ったが、教職員の対応マニュアルについての確実な理解の必要性を感じたため、今後、校内研修も含め、充実を図っていきたい。
					⑤ 社会に認められる教職員の資質向上と職務の適正化	・時間外勤務が45時間以内の職員を6割にする。 ・グループウェアの活用を推進し、会議の時間を短縮、退校時間を早める。 ・研修主事による各種校内研修を充実させる。	B	

学校運営協議会における主な評価内容

- ・生徒が明るい雰囲気をもっている。今後も大切にしていきたい。
- ・「郷土の未来を語る会」は地域とのつながりがもて、つけたい資質能力を育めた。
- ・自分のよさを理解している、自分らしく生きる、自分のことが語れるような教育を継続して推進してほしい。